

MEDIA INFORMATION



2008 CIK-FIA ワールドカップカートレース IN JAPAN

2008 CIK-FIA WORLD CUP KART RACE IN JAPAN

鈴鹿サーキット 国際南コース 1.264km

2008年5月 23日(金)・24日(土)・25日(日)

ファイナル

- 開催クラス : CIK-FIA WORLD CUP FOR KF1 / CIK-FIA ASIA-PACIFIC KF2 CHAMPIONSHIP
- 同日開催 : FP-Jr
- オーガナイザー : 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
- プロモーター : 株式会社 モビリティランド
- 公認 : 国際カート委員会(CIK) / 国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 後援 : 鈴鹿市 / 鈴鹿商工会議所 / 鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿モータースポーツ市民の会 / カートメーカーインポーター協会(KMIA) / 日本カートランド協会(JKLA) / 日本選手権オーガナイザー会(JKOA) / 有限責任法人SLカートのスポーツ機構(SLO)
- オフィシャルパートナー : 株式会社サントレード



ゆうえんち入園料でご覧いただけます。(※各日とも1日のみ有効)

料金(ゆうえんち入園料)		
大人 (中学生以上)	子供 (小学生)	幼児 (3歳~未就学児)
1,600円	800円	600円

お車で越しの方は、ゆうえんち駐車場に駐車いただき、無料シャトルバスをご利用ください。

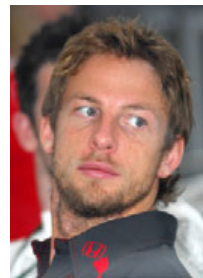
■無料シャトルバス運行区間: 正面ゲート⇄国際南コース

昨年アジア・パシフィックKF2を制したウィル・スティーブンスがHonda Racing F1 Teamと契約！ F1ドライバー予備軍として再び国際南コースを疾走する！！

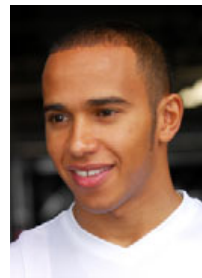


ウィル・スティーブンス

昨年、CIK-FIAワールドカップカートレースと同時開催されたCIK-FIA アジア・パシフィック選手権(KF2)で見事優勝した、若年16歳のウィル・スティーブンス(イギリス)が、育成ドライバーとして今年4月8日にHonda Racing F1 Teamと契約し、世界中から注目を集めた。昨年はアジア・パシフィック選手権の他にもFIA-CIK KF2ヨーロッパ選手権、インターナショナルオープンマスターKF2クラスでも優勝。これらの実績が認められての抜擢だった。そのスティーブンスが再び鈴鹿サーキット国際南コースに戻ってくる。今度はトップカテゴリーのKF1クラスでの参戦だ。



ジェンソン・バトン



ルイス・ハミルトン

現在Honda Racing F1 Teamで活躍するジェンソン・バトンも96年、16歳の年に鈴鹿ワールドカップカートレースFAクラスに出場し3位に入った。当時設けられていた「アイルトン・セナ メモリアルカップ

CIK-FIA」に選出され、その後一気に頂点に駆け登り、20歳でF1デビューとなった。またマクラーレンF1チームの育成ドライバーから、今やF1のトップドライバーに成長したルイス・ハミルトンは2000年にツインリンクもてぎで行われたワールドカップFAクラスで優勝している。スティーブンスもバトンやハミルトンと同じ階段を登るのか？鈴鹿ワールドカップでの走りに、世界中の目が注がれることになった。

■ウィル・スティーブンスの他に参戦を予定している主なドライバー

ドライバー	2007年の主な戦績
マルコ・アージェッゴ	ワールドカップ優勝 / 世界選手権チャンピオン
ギャリー・キャッツ	ワールドカップ3位 / 世界選手権2位
ダビデ・フォレ	ワールドカップ4位
サウロ・チェッセティ	ワールドカップ5位

F1ドライバー、アロンソもトゥルーリも同じ道を歩んだ。国際南コースを制したものが頂点への第一歩を記す！ カート最高峰レースに今年も世界の精鋭が結集！！



フェルナンド・アロンソ

昨年F1世界選手権でマクラーレン・メルセデスのチームメイト、ルイス・ハミルトンと、最終戦まで息詰まるチャンピオン争いを展開したフェルナンド・アロンソもCIK-FIAワールドカップカートレースで、F1への第一歩をスタートさせた。アロンソは1998年に出場。この年は豪雨に見舞われ決勝レースは中止となったが、予選ヒートでトップを獲得するなど、速さの片鱗を見せつけた。他にもワールドカップカートレースは数々のF1ドライバーを輩出してきた。94年、95年と2年連続優勝を飾ったヤルノ・トゥルーリは今期もトヨタのエースとしてF1に参戦する。今期ウィリアムズチームで3年目のシーズンを迎えるニコ・ロズベルグも2000年(もてぎ)に参戦して活躍。他にもマクラーレンのヘイッキ・コバライネン、BMWのロバート・クビサ、フォース・インディア



ダン・ウェルドン

のジャンカルロ・フィジケラ、スーパー・アグリのアンソニー・デビッドソンもワールドカップでの活躍をステップに世界の階段をのぼりつめた。また、アメリカのトップレース、IRLインディカーシリーズに02年から参戦、04年にツインリンクもてぎで開催されたインディジャパンで初優勝を遂げると、05年にはチャンピオンを獲得したダン・ウェルドンも95年FAクラスに参戦し、見事優勝している。やはり「ワールドカップ」は世界を目指す者にとって重要なタイトル。それだけに今年も世界中から精鋭たちが国際南コースに結集することになる。



J・トゥルーリ



N・ロズベルグ



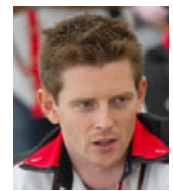
H・コバライネン



R・クビサ



J・フィジケラ



A・デビッドソン

F1テストドライバーの山本左近も、昨年フォーミュラ・ニッポン、チャンピオン松田次生も、IRLインディカー帰りの松浦孝亮もワールドカップカートレースを経験



山本 左近

日本人ドライバーにも「ワールドカップ」を経験してステップアップした選手は多い。今期ルノーチームのテストドライバーを務める山本左近は99年、00年に参戦。同じ00年に参戦した伊沢拓也は、今期フォーミュラ・ニッポンに抜擢され、デビューレースとなった開幕戦でいきなり予選2番手を獲得する大活躍を見せた。他にもフォーミュラ・ニッポンでは昨年のチャンピオン松田次生が97年、



松田 次生



伊沢 拓也



松浦 孝亮

98年に参戦。ベテラン本山哲(93年)も金石年弘(95年、96年)も経験者だ。また昨年まで4年間アメリカ、IRLインディカーシリーズで活躍、今期フォーミュラ・ニッポン参戦の松浦孝亮は、97年FAクラスに参戦、J・コートニーとの死闘の末、最終ラップの最終コーナーで大逆転。見事優勝を飾り、その後のステップアップに勢いをつけた。また、日本で活躍する外国人ドライバー、ロニー・クインタレッリやロベルト・ストレイトもワールドカップ経験者だ。海外からの精鋭はもちろんだが、日本国内の若手選手の走りにも大いに注目したい。

注目のFP-Jrがサポートレースとして開催！ 将来のF1候補生が大挙参戦！！

今年のワールドカップカートレースではKF1、KF2に加え、FP-Jrがサポートレースとして開催される。これは12歳から15歳のジュニアドライバーによるレースで、すでに34台のフルグリッドのエントリーが集まった。このクラスは、今年フォーミュラ・ニッポンに参戦している平手晃平、F1トヨタのテストドライバーで、GP2に参戦している小林可夢偉、昨年の全日本F3選手権チャンピオンで今年ユーロF3選手権に参戦している大嶋和也らを輩出しているだけに注目度は高く、将来のトップドライバー候補が激しいバトルを披露してくれるはずだ。



WORLD CUP KART RACE IN JAPAN リザルト(トップ3)

年	コース	クラス	優勝	2位	3位
1991年	鈴鹿サーキット国際南コース	FK	D・クレバレス	D・ロッシ	李 好彦
		FA	D・スミス	金子 雄一	D・アンドレ
1992年	鈴鹿サーキット国際南コース	FK	D・ロッシ	M・リタプリス	C・ヘルベルグ
		FA	A・フェデモンテ	A・ベリッキ	道上 龍
1993年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	N・ジャンニベルディ	G・フィジケラ	J・トゥルーリ
		FA	P・モロ	L・コーシオ	大脇 照男
1994年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	J・トゥルーリ	A・マネッティ	N・マッジオ
		FA	L・カサーザ	D・フォレ	J・デグートゥ
1995年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	J・トゥルーリ	松谷 隆郎	津田 浩次
		FA	D・ウェルドン	佐藤 雅洋	F・G・フラガス
1996年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	M・オルシニ	C・バリストレリ	G・ベッジオ
		FA	M・パプロビック	G・バンターノ	J・バトン
1997年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	佐野 和志	G・ベッジオ	李 好彦
		FA	松浦 孝亮	J・コートニー	R・アンティヌッチ
1998年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	松谷 隆郎	G・バンターノ	C・バリストレリ
		FA	※豪雨のため決勝レース中止		
1999年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	V・リウツィ	E・ガンドルフィ	佐野 和志
		FA	J・ボンシェ	A・ドス・サントス	F・ペレラ
2000年	ツインリンクもてぎ 北ショートコース	FSA	D・フォレ	V・リウツィ	C・バリストレリ
		FA	L・ハミルトン	C・ピッチオーネ	C・ブラウン
2006年	鈴鹿サーキット国際南コース	FA	A・コズリンスキー	J・ピアンキ	R・クリストッダール
2007年	鈴鹿サーキット国際南コース	KF1	M・アーディゴ	服部 竜也	G・キャッツ